

登録コード:MH220300 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	病理組織解析学【20M以降】 Practice in Histopathology			
担当教員	太田 浩良 木村 文一			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	検査技術科学専攻 / 3年 前期 火曜・1 時限			
単位数、講義室	1 単位	保健学科形態系実習室		遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH22カリ・保健, MH20カリ・保健			
	保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。		生体の機能と病態の理解に必要な組織の構造を理解できる。	
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。		基本的な病変について、その病理組織学的変化を理解できる。	
	MH25カリ・保健・検査, MH23カリ・保健・検査			
	基礎的・専門的な知識と技能 保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		生体の機能と病態の理解に必要な組織の構造を理解できる。	
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		基本的な病変について、その病理組織学的変化を理解できる。	
授業で学べる「テーマ」	健康長寿			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	ヒト病理組織標本を顕微鏡観察して、基本的な病変の病理組織学的変化を学習する。 本授業は、1年次前期に学んだ「病理病態学」と2年次前期に学んだ「病理病態学」の知識を前提としています。そして、本授業の内容は全専攻において4年次の臨床実習における重要な基礎知識となります。 本授業は、担当教員の医療機関における病理専門医としての実務経験を活かして講義を行います。			
授業計画	第 1回 (4月14日) 循環器系の顕微鏡観察 第 2回 (4月21日) 呼吸器系の顕微鏡観察 第 3回 (4月28日) 消化器系の顕微鏡観察 第 4回 (5月12日) 内分泌系の顕微鏡観察 第 5回 (5月19日) 泌尿器系(腎疾患)の顕微鏡観察 第 6回 (5月26日) 泌尿器系(膀胱・尿管疾患)の顕微鏡観察 第 7回 (6月 2日) 生殖器(男性)の顕微鏡観察 第 8回 (6月 9日) まとめ・中間試験 第 9回 (6月16日) 造血器系・リンパ系の顕微鏡観察 第11回 (6月23日) 神経系の顕微鏡観察 第12回 (7月 7日) 運動器系(骨軟部組織)の顕微鏡観察 第13回 (7月14日) 乳腺の顕微鏡観察 第14回 (7月21日) 小児病理の顕微鏡観察 第15回 (7月28日) 自由鏡見・授業アンケートの実施 第16回 (8月 4日) 期末試験			
授業の進め方	スライド投影により病理組織像の解説を行い、引き続いてヒト病理組織標本の顕微鏡観察を行う。			
テキスト, 教材, 参考書	教材：代表的な病理組織像をCD-ROMにて配布する。 教科書：病理組織マップ&ガイド（文光堂） 参考書：組織病理アトラス（文光堂）			
成績評価の方法	レポート・中間試験・期末試験の結果に基づいて、総合的に成績を評価します。 総合評価の配分は、レポート10%、中間試験が40%、期末試験が50%とし、総計の60%以上の得点を合格とします。中間試験は、第8回（6月4日）に、実施します。 中間試験では第1回～7回の講義内容に関する病理組織像の理解度を評価します。 期末試験では第8回～14回の講義内容を中心に、第1回～7回の講義内容を含め、病理組織像の理解度を評価します。 中間試験および期末試験の結果については、実施後にフィードバックします。			
成績評価の基準	成績評価の判定基準は、下記の通りとする。 90-100点：秀 80-89点：優 70-79点：良 60-69点：可 なお、これらの採点の基準は、行動目標に関連した設問に対する選択式解答の正誤だけで			

成績評価の基準	なく、記述式解答における用語の適切さ、説明内容の範囲の広さや詳細さ、説明内容の論理的な妥当性などを指標とし、授業で説明した範囲における、最低限の解答内容であれば「水準にある」、やや詳細な解答内容であれば「やや上にある」、十分に詳細な解答内容であれば「かなり上にある」、授業で説明した範囲以上に自身で能動的に学修した詳細な解答内容であれば「卓越している」と判定します。
事前事後学習の内容	【事前学習について】 予習用に、代表的疾患の画像（電子ファイル）を配布します。 【事後学習について】 代表的疾患について病理組織像の特徴についてのレポート課します。 本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。授業時間30時間（2時間×15回）＋自己学習時間15時間（1時間×15回）＝45時間 ＊以上の自己学習時間を考慮して、事前・事後学習に意欲的に取り組んでください。
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	質問、相談には講義中および研究室にて対応します。 質問への対応：太田 浩良 hohta@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：火曜日 12:10～13:00 保健学科中校舎 太田研究室